

『環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

作成年月日	平成20年9月17日
作成部署	丹後広域振興局

事業名	治山事業（地域防災対策総合治山）	地区名	滝
概算事業費	280,000千円	事業期間	平成21年度～平成25年度
事業概要	治山ダム工15基 流路工50m 本数調整伐25ha 竹林改良5ha		
目指すべき環境像	荒廃した溪流や竹の侵入等により機能の低下した森林を整備し、水土保持機能を高度に発揮できる災害に強い森林を育成することが望まれている。		
関連する公共事業	◎施工地付近で行われている公共事業について記述なし		

評価項目		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価	
主要な評価の視点	選定要否				
地球環境・自然環境	地球温暖化(CO ₂ 排出量等)	<p>○平成16年の台風23号による集中豪雨により、溪流内に不安定土砂の堆積や溪岸浸食があり、土砂の流出の抑制が求められる。</p> <p>○丹後天橋立大江山国定公園の指定地であり、野生生物の生息や植物の生育環境への影響に配慮する必要がある。</p> <p>○元々、人工林であった区域にタケが侵入し、竹林が拡大している。根返り等表土がかく乱され、土砂の流出の恐れがある。</p>	<p>○治山ダムの設置により、溪流の勾配を緩和することによって土砂の流出を抑制する。森林整備により、植生を発達させ、表土流出の防止を図る。</p> <p>○地形の変更は最小限とし、緑化や周辺の植栽を行い、早期に復旧を図る。</p> <p>○竹林改良により、タケを伐採・整理し、植栽工を実施することで、水土保持機能の高い森林へ導く。</p>	4	
	地形・地質			4	
	物質循環(土砂移動)			○	5
	野生生物・絶滅危惧種			○	
	生態系			○	
	その他				
生活環境	ユニバーサルデザイン	<p>○下流の与謝浄水場は深山川から取水しており、滝地区の給水を担っているため、良好な水質が求められる。</p> <p>○床掘による建設発生土砂の適正な処理が求められる。</p>	<p>○治山ダムの設置により、基底流量を増加させ、森林整備により水源かん養機能を増大させることにより、良質な水の安定供給を図る。</p> <p>○土砂は埋め戻しに利用するなど現場内で適切に処理する。</p>	3	
	水環境・水循環			○	
	大気環境				
	土壌・地盤環境				
	騒音・振動				
	廃棄物・リサイクル			○	3
	化学物質・粉じん等				
	電磁波・電波・日照				
その他					
地域個性・文化環境	景観	<p>○丹後天橋立大江山国定公園の指定地であり、区域内には京都府の天然記念物に指定されている「滝の千年ツバキ」が生育している。</p>	<p>○人の入り込みが期待される箇所については、周辺の森林を針広混交林に導き、良好な森林景観を創出する。</p>	4	
	里山の保全				
	地域の文化資産			○	
	伝統的行祭事				
	地域住民との協働				
	その他				